

モクズガニの種苗生産について

福島県水産種苗研究所

平成14年度福島県水産種苗研究所研究発表会要旨

1 部門名

水産業一種苗研究(開発)一種苗生産

分類コード 19-06-19000000

2 担当者

千代窪孝志

3 要旨

本種は、昔から浜通り地方の郷土料理の食材として地元で消費されている。最近では地域特産品として地域活性化を図る取り組みがなされており、それら団体から飼育に関する指導要請を受けて種苗生産試験に着手した。

(1) 親ガニ養成

腹節に卵を有しない未抱卵の親ガニを水槽内で飼育することにより、交尾及び抱卵させることが可能であった。

1度の交尾のみで2~4回の抱卵がみられ、1個体から10~60万個体/回のふ化幼生が得られた。

(2) 種苗生産

飼育試験を21回行った結果、稚ガニに変態するまでの所要日数は19~35日、生残率は0.0~2.7%であった。

(3) 稚ガニ期の飼育

ふ化後91日まで~175日までの生残率は17%~37%であった。

4 その他の資料等

なし